

録音ボランティアに望むこと

～ 視覚障害者の立場から ～

七沢自立支援ホーム

矢部健三

僕のプロフィール

- 13歳で失明し、
横浜市盲に転校
- 全盲で初めて県立普通
高校に進学
- 大卒後、七沢自立支援
ホーム勤務
- 点字・ICT等訓練と
生活支援を担当
- 趣味はスキー



今日のテーマ

- 「視覚障害者」と「視覚障害」
- 七沢自立支援ホームのご紹介
- 視覚障害者の情報収集環境
- 録音ボランティアへの期待

視覚障害者は何人いるの？

- ・ ヒント：障害者総数は、593.2万人

全国の視覚障害者数

- 全国の視覚障害者は約312,000人
 - 平成28年生活のしづらさなどに関する調査
(全国在宅障害児・者等実態調査)
- 厚木市の視覚障害者は404人
 - 令和4年版 統計あつぎ 14 社会福祉・労働

視覚障害者等級表

1級	視力の良い方の眼の視力が0.01以下のもの
2級	1 視力の良い方の眼の視力が0.02以上0.03以下のもの 2 視力の良い方の眼の視力が0.04かつ他方の眼の視力が手動弁以下のもの 3 周辺視野角度の総和が左右眼それぞれ80度以下かつ両眼中心視野角度が28度以下のもの 4 両眼開放視認点数が70点以下かつ両眼中心視野視認点数が20点以下のもの
3級	1 視力の良い方の眼の視力が0.04以上0.07以下のもの（2級の2に該当するものを除く。） 2 視力の良い方の眼の視力が0.08かつ他方の眼の視力が手動弁以下のもの 3 周辺視野角度の総和が左右眼それぞれ80度以下かつ両眼中心視野角度が56度以下のもの 4 両眼開放視認点数が70点以下かつ両眼中心視野視認点数が40点以下のもの

視覚障害者等級表

4級	1 視力の良い方の眼の視力が0.08以上0.1以下のもの(3級の2に該当するものを除く。) 2 周辺視野角度の総和が左右眼それぞれ80度以下のもの 3 両眼開放視認点数が70点以下のもの
5級	1 視力の良い方の眼の視力が0.2かつ他方の眼の視力が0.02以下のもの 2 両眼による視野の2分の1以上が欠けているもの 3 両眼中心視野角度が56度以下のもの 4 両眼開放視認点数が70点を超えかつ100点以下のもの 5 両眼中心視野視認点数が40点以下のもの
6級	視力の良い方の眼の視力が0.3以上0.6以下かつ他方の眼の視力が0.02以下のもの

視覚障害者の構成は？

視覚障害者の構成

- 72.7%が重度(1・2級)
- 68.9%が65歳以上
 - 平成28年生活のしづらさなどに関する調査
(全国在宅障害児・者等実態調査)

視覚障害者ってどんな人？

一般的な視覚障害者像

かわいそうな人・なにもできない人

VS

明るく前向な人・なんでもできる人

知ってほしい視覚障害者の実像

- 障害者である前に一人の人間である
- 障害しか持っていない人ではない
- 一人一人異なった個人である

視覚障害ってどんな障害？

視覚障害の主な困難

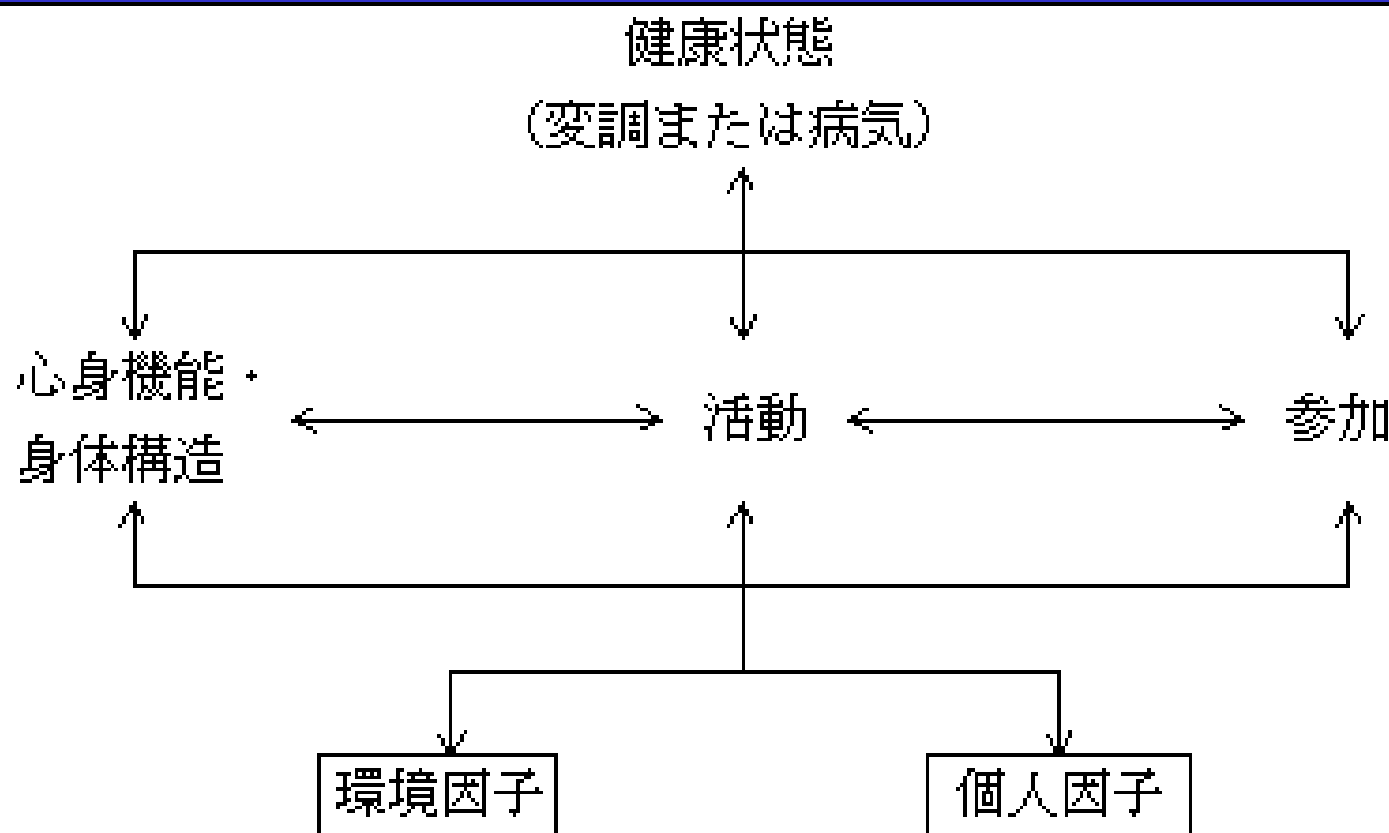
- 移動・外出
- 文字の読み書き
- 身辺管理・家事全般

障害の考え方「医療モデル」 WHO「国際障害分類」



障害の考え方「社会モデル」

WHO「国際生活機能分類」



白杖を使って歩いている人が電 信柱にぶつかっている絵



七沢自立支援ホーム視覚部門で どんなところ？

- 視覚障害者のためのリハビリ施設
- 15歳以上の視覚障害者が対象
- 利用者個々のニーズに対応
- 利用形態は入所・通所・訪問
- 利用期間は3か月～1年半
- 定員は機能訓練18名、入所支援10名

支援の目的

- 社会参加と自立に必要な知識・技能の習得
- 社会的環境調整

支援の内容

- 生活支援(進路・生活相談、家族支援など)
- 感覚訓練(諸感覚の活用訓練、スポーツなど)
- 歩行訓練(屋内移動、白杖操作、屋外移動など)
- コミュニケーション訓練(点字、ICT、録音図書など)
- 日常訓練(身辺処理、家事動作など)
- 体育・心理、その他必要に応じて、PT・OT・ST等訓練

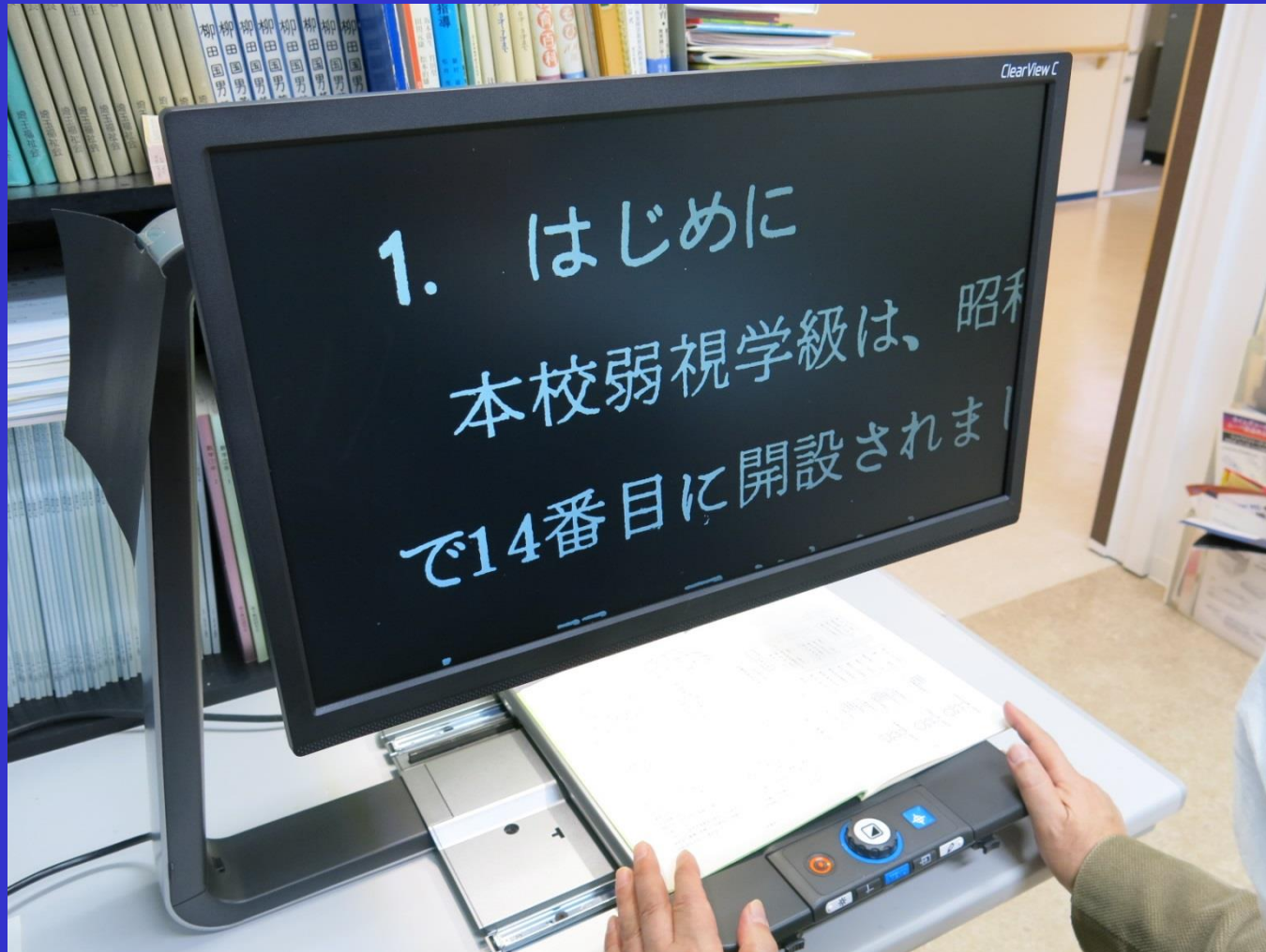
地域支援

- 見学・研修の受け入れ
- 講師等の派遣
- 体験会・相談会の開催
- 受託評価
- 障害者スポーツ大会の支援

感覚訓練

- 目的
 - － 視覚・聴覚・触覚・その他の感覚を使用して、安全で効率的な新しい行動システムを身に着ける。
- 触察
 - － パズル・浮き出し文字など
- ロービジョンエイド
 - － 光学的補助具・拡大読書器(CCTV)

感覚訓練: CCTV



感覚訓練: STT



歩行訓練

- 目的
 - 白杖を使用して街中を歩いたり、バスや電車などを利用して出かけられるようになる。
- 屋内移動・防衛姿勢
- 誘導法
- 白杖操作
- 屋外移動(住宅街・繁華街)
- 交通機関利用
- 生活地域

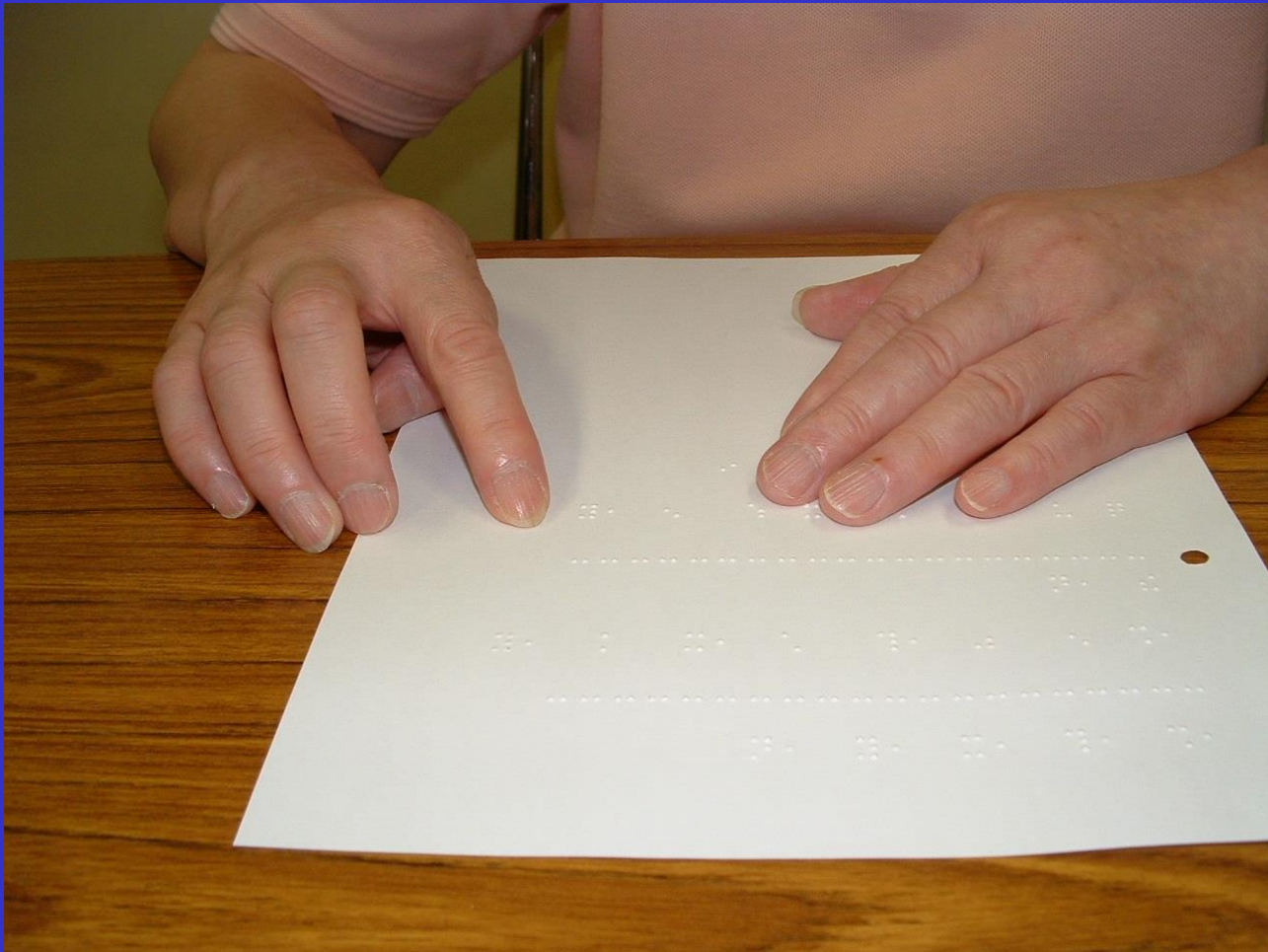
歩行訓練



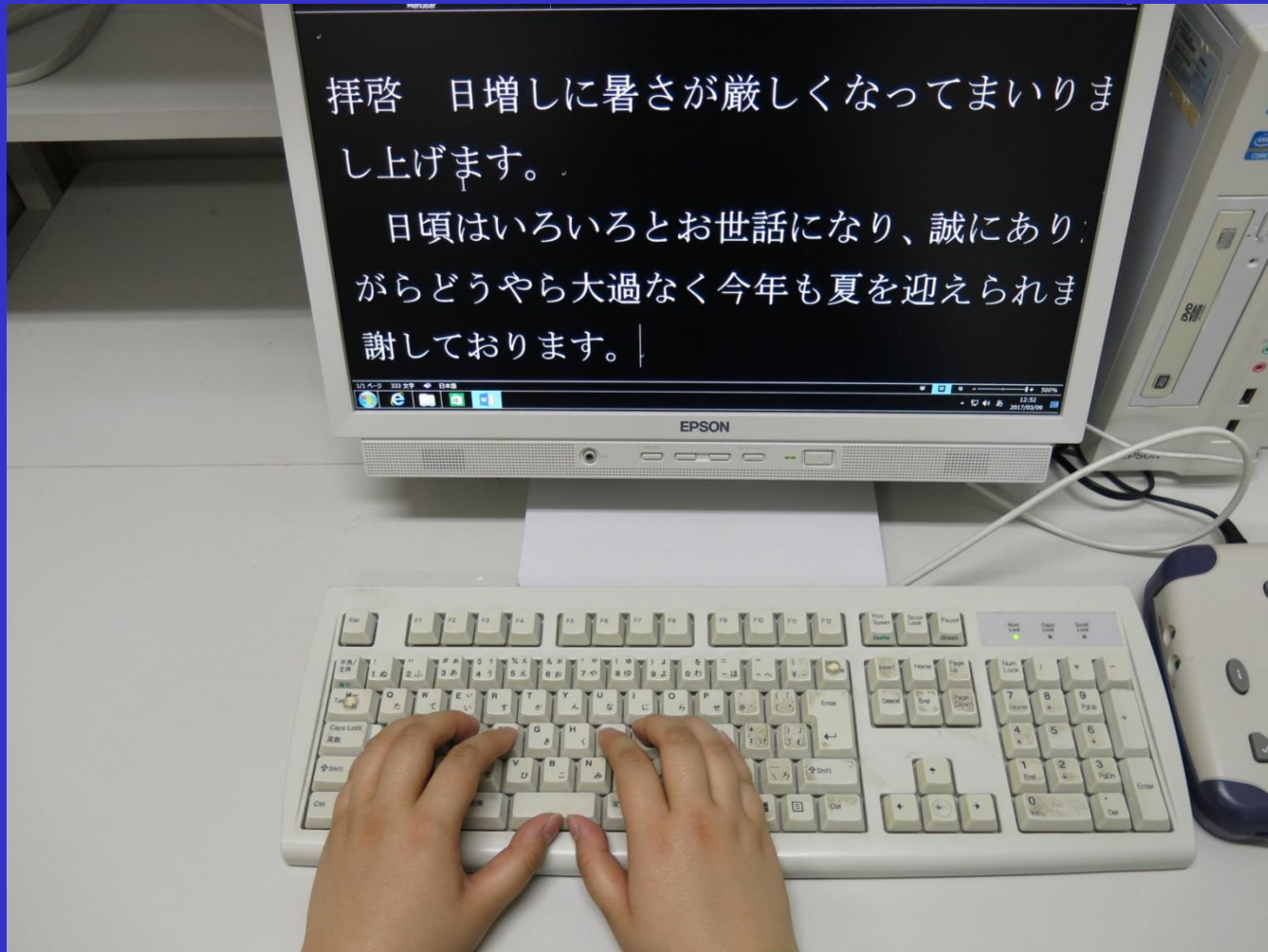
コミュニケーション訓練

- 目的
 - 個々の視覚の状況や進路に応じて様々なコミュニケーション手段のなかから、ふさわしいものを身につける。
- 点字
 - 読み・書き
- 情報機器
 - パソコン・スマホ／タブレット・点字情報端末
- 録音図書
 - DAISY図書、点字図書館の利用

コミュニケーション訓練：点字読み



コミュニケーション訓練：パソコン



日常生活動作訓練

- 目的

- 個々人の日常生活に復帰できるよう、視覚以外の
手がかりも利用するなど、安全で確実な技術・動作
を習慣として身につける。

- 身の回りに関すること

- 物の管理や整理、身だしなみ、
用具の使用など

- 家庭生活に関すること

- 掃除、洗濯、裁縫、調理など

- 社会生活に関すること

- 金銭管理、電話操作、買い物など

日常生活訓練：調理



日常生活訓練：裁縫

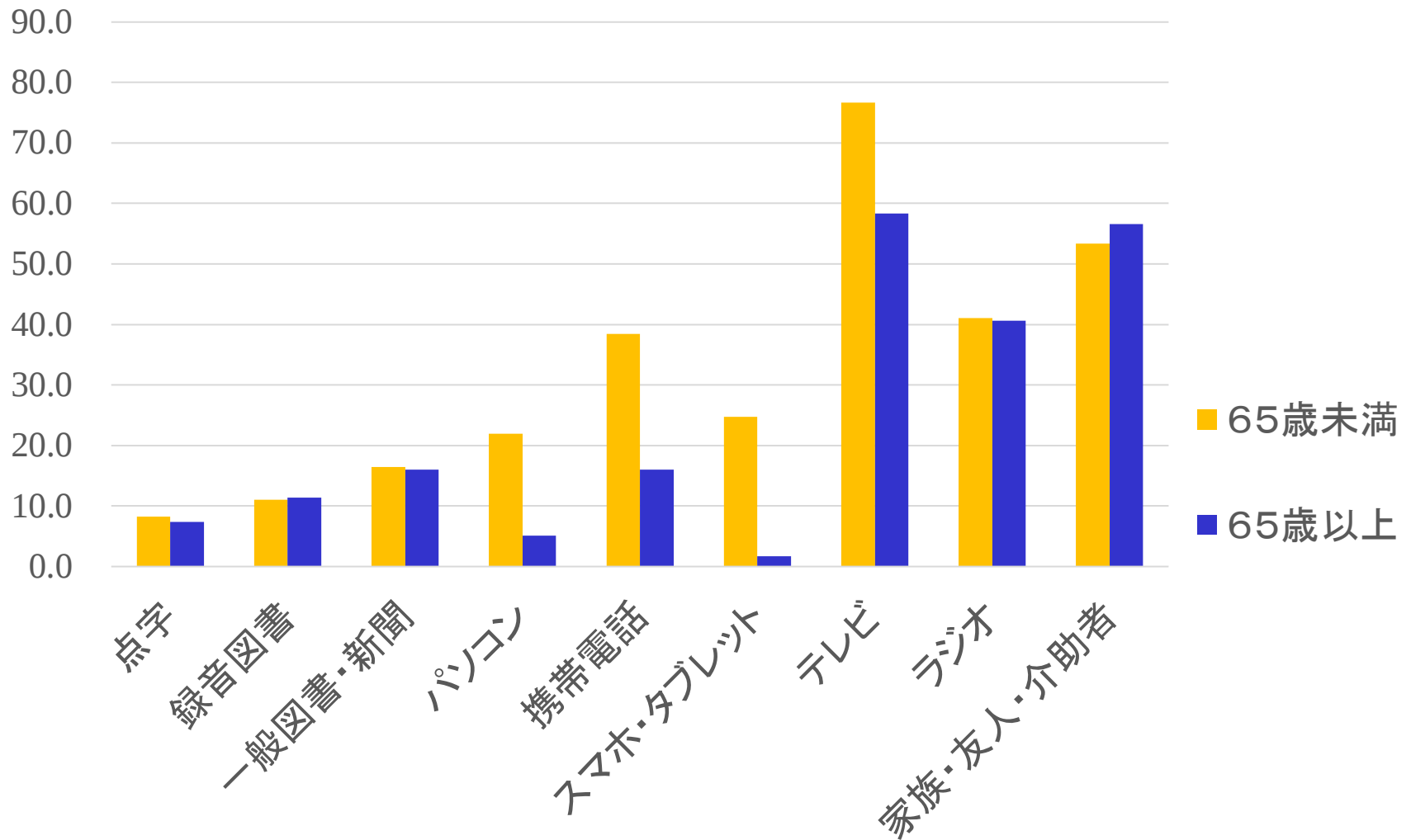


訓練を受ければ自立できるの？

- 一人で歩けない人もいる
- 点字やパソコンを使えない人もいる
- すいすい家事をこなせない人もいる
- なんでも自分でできるようになるだけが「自立」ではない
- 在宅生活では家族や公的サービスなどの援助も必要

どうやって情報を得ているの？

情報入手の手段

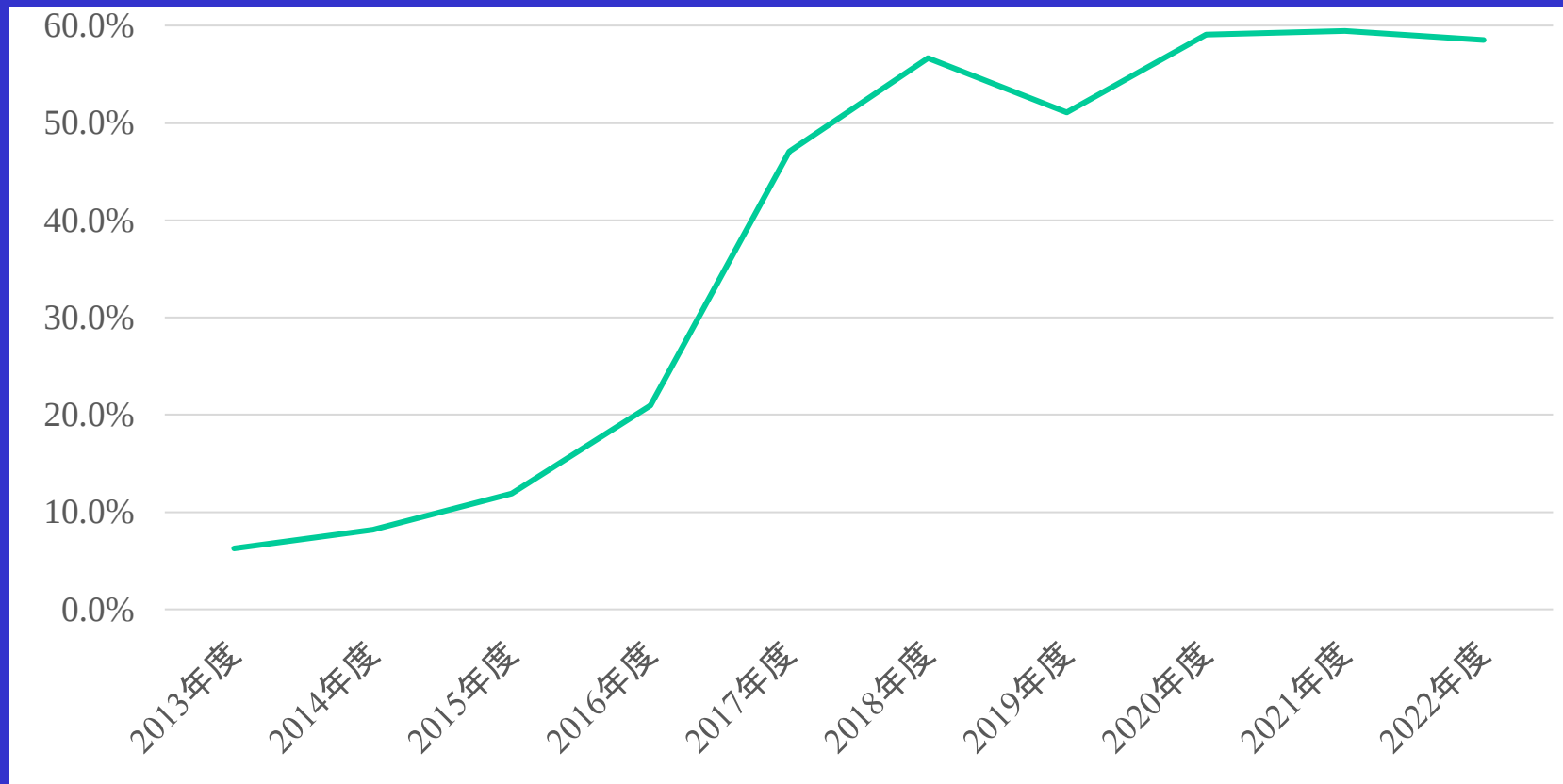


視覚障害者の情報入手は？

- テレビ、家族・友人・介助者、ラジオが高い
- 一般図書・新聞、録音図書、点字は低い
- 65歳以上ではパソコン、携帯電話、スマホ・タブレットの割合が非常に低い
 - ※平成28年生活のしづらさなどに関する調査（全国在宅障害児・者等実態調査）

年度別スマホ・タブレット訓練 対象者数の推移

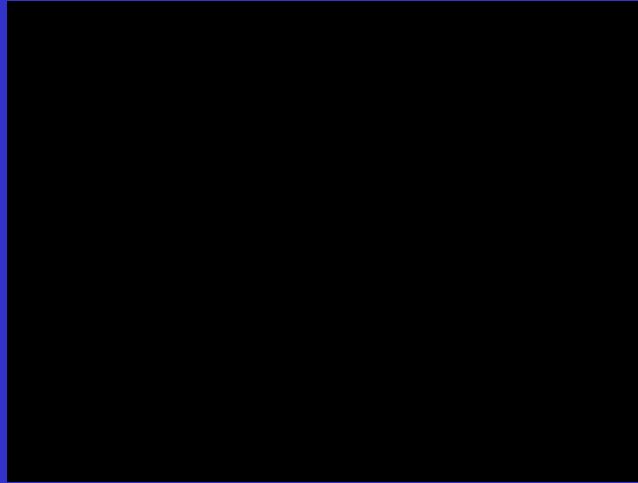
- 2018年から訓練希望者が急増



情報収集-僕の場合

- 天気予報・新聞・メール・SNSなどはiPhoneでチェック
- 読書はサピエ図書館からDAISYをダウンロード
- ネット検索はPC中心、外出時はiPhoneでも
- 墨字は職場や家で代読依頼、iPhoneでOCRも

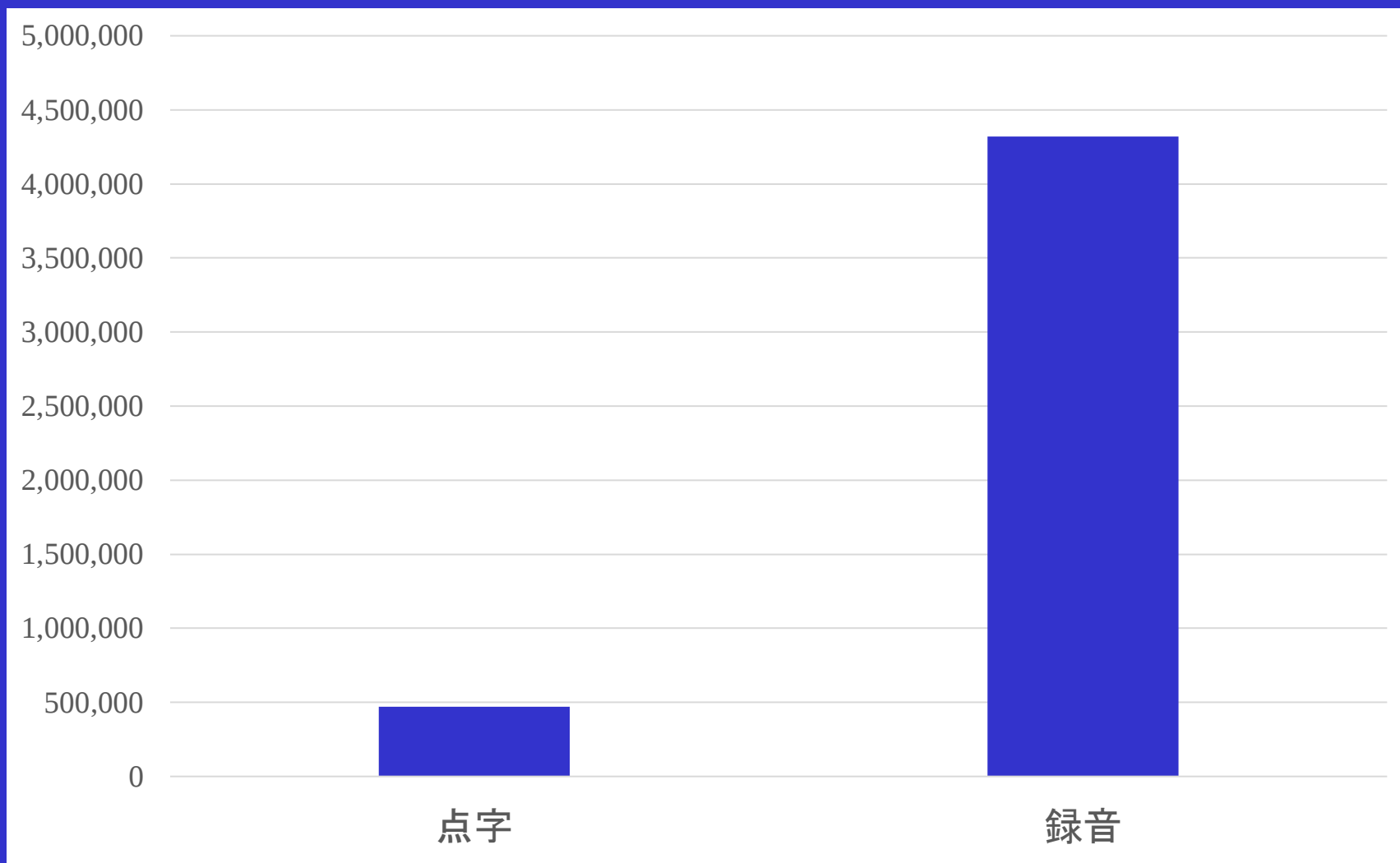
ブラインドスキー



録音ボランティアに集まる期待

- 録音ボランティア活動の重要性
 - 情報社会の進展
 - 点字を読めない視覚障害者の増加
- サービス提供の多様化
 - 「図書」以外の文字処理の援助
 - 文字以外の情報の音声化

録音図書は点字の約10倍



録音ボランティアに望むこと(1)

- ボランティア活動も責任ある仕事
 - 情報の正確性
 - 情報の新鮮性
 - 個人情報の守秘

録音ボランティアに望むこと(2)

- 時代の変化に対応した活動
 - 個別のニーズへの対応
 - デジタル化への対応

完

ご清聴ありがとうございました